

憲法しんぶん速報版

第 149 号

2006 年 9 月 20 日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

改憲公約掲げた安倍氏が自民新総裁に

憲法 60 周年の運動と結び反撃へ

自民党は9月20日、憲法の明文改悪を公約に掲げ、集団的自衛権についての政府解釈の変更すら目指す安倍晋三氏を、小泉総裁に代る新総裁に選出しました。26日に首相に指名されることは間違いありません。憲法会議はこの日、別項の声明を発表、憲法60周年記念の運動と結びつけ、反撃していく決意を表明しました。

国会冒頭に共同の院内集会

総裁選の最中から異様な改憲発言をつづける安倍氏が新首相に指名される臨時国会に向け、憲法会議、許すな！憲法改悪市民連絡会、キリスト者平和ネットなどで事務局を構成する「5・3憲法集会実行委員会」は、開会冒頭から共同行動を展開することを確認、26日には別項の院内集会を開きます。

「九条の会」が学習会

「九条の会」事務局は、学習会の講師活動や、地域・分野の「会」の事務局を担当している人の活動に役だてるため、定期的な学習会を開催します。第1回目の学習会はつぎのとおり。

◇日時 10月7日 午後1時30分

◇全理連ビル (JR・地下鉄代々木駅)

◇当面の予定◇

▽憲法破壊の暴走政治を許さない！院内集会

・日時 9月26日

14:30～16:00

・会場 衆院第2議員会館第4会議室

主催＝5・3憲法集会実行委員会

▽憲法公布60周年記念シンポジウム

・日時 11月1日 午後6時

・会場 全国教育文化会館

◇テーマと講師

- ・新政権下での改憲の動きと集団的自衛権 (小澤隆一・憲法学)
- ・歴史認識と教育基本法改悪の動き (笠原十九司・歴史学)

◇参加費 500円

〔声明〕 **安倍自民党新総裁の誕生にあたって**

——公布60年を迎える日本国憲法への挑戦をはねかえそう

本日、安倍晋三氏が自民党の新しい総裁に就任し、26日には首相に指名されることが確実となりました。

安倍氏は、5年という期限まで示し「新憲法を制定するためリーダーシップを発揮していく」ことを公言してきました。また、歴代自民党政府が「憲法9条のもとでは許されない」としてきた集団的自衛権の行使を、解釈の変更をつうじて可能にすることも検討するとしています。これらは、地球上のどこにたいても自衛隊が米軍と一体となって迅速に武力介入することをめざし、アメリカがすすめている「米軍再編」の要請に全面的に応えようとするものです。

同時に安倍氏は、日本がおこなったアジア・太平洋戦争を侵略戦争と認定した戦後世界の原点を否定し、日本国憲法や教育基本法を「占領政策の残滓」、「敗戦の詫び証文」などとする驚くべき歴史認識を表明し、偏狭なナショナリズムを打ち出しています。アジア諸国はもちろん、アメリカでさえ「あからさまなナショナリスト」（「東京」9月20日）と警戒感をつのらせているように全世界との外交関係をいっそう困難なものとすることは避けられません。

この安倍氏にたいし、自民党各派閥はなだれをうつように支持を集中し、大手マスコミは大々的な美化キャンペーンを展開しました。

いま私たちの目の前で繰り広げられているこうした事態は、おりしも公布60周年を迎える日本国憲法と、この憲法のもとで平和、民主主義、人権を守るたゆみない運動を積み重ね、これらを着実に根づかせてきた国民にたいする許しがたい挑戦であり、国民との矛盾を深刻なものとしざるをえません。

歴史の逆流を許すわけにはいきません。私たちは、当面する臨時国会において、改憲手続法案、教育基本法改悪などの憲法破壊の悪法の成立を阻止することに全力をあげます。今年11月3日に公布60周年、来年5月3日に施行60周年を迎える日本国憲法の先駆的・先進的価値をあらためて学び、こんにちの改憲の流れに立ち向かう国民的運動の発展をめざします。

アジア、中南米、アフリカ、ヨーロッパなど、いまや世界では紛争を武力ではなく平和的な外交によって解決するとの国連憲章の精神にそった地域共同体の流れがめざましい勢いで発展しつつあります。日本国憲法の改悪に反対し、9条と民主主義、人権をまもる私たちの運動は、この世界の流れと響きあって、日本国憲法が真に実現される21世紀の日本の展望を開いていくものであることを確信するものです。

2006年9月20日 **憲法改悪阻止各界連絡会議**